

☆ 目指す子ども像

- 強い子は
- がんばる子
- やさしい子



わくわく・ドキン!

3・3・1 No13 池内幼稚園

卒園式・修了式に向けて!

令和2年度も残すところ1か月となりました。今年度は、世界的なコロナ禍に振り回された1年となりました。

本園でも多くの行事が変更や中止を余儀なくされました。しかし、子どもたちは、この1年、様々な変化に対応しながら心身ともに大きく成長しました。



コロナ禍の中で、感染予防に配慮しながら、色々な行事を工夫して行うことができました。七夕発表会はできませんでしたが、反面、時間的なゆとりが生まれ、遊びが充実し広がりました。さらに、マラソン大会やクリスマス発表会では、日程を分散することで、組み合わせやすくご覧いただくことができました。

このように、コロナ禍はマイナス面だけではなく、プラス面もありました。さらに、従来の行事や活動を見直すよいきっかけになりました。

さけの(卒園式) 2/22

1月7日に「入園」したサケも、卵から稚魚へと成長し、一足先に「卒園」しました。サケの卵を世話していただいた岡本敏雄さん(舞鶴サケ放流実行委員会)に、サケの一生の話(2/16)をしていただきました。



卵→稚魚→池内川→大海→池内川に産卵のために再び帰ってきます。サケが住みやすい環境は、人間にとっても大切な環境である

ことを知りました。地球の環境問題が大きく取り上げられる中、子ども達には環境を守る気持ちを人一倍強く持って欲しいと願っています。22日の放流では「池内川にまた帰って来てね!」との子ども達の熱いエールを背に、小さい体で元気に泳いでいきました。



3月の主な行事予定

3月

9(火)	1月誕生会	10:30
10(水)	2月誕生会	10:30
11(木)	3月誕生会	10:30
18(木)	給食最終日	
19(金)	卒園式準備(午前中保育)	早あり延長なし
20(土)	卒園式(年長参加)	
22(月)	年中以下通常保育(～23)	早延長あり
23(火)	※弁当持参(給食なし)	
24(水)	修了式	午前中保育 早延長あり
25(木)	春休み預かり保育(～31)	

誕生会
ご家族1名
動画配信あり



*卒園式は、新型コロナ対策のため、下記の対応をします

- ・来賓の出席は無し
- ・内容の縮小(祝辞無し)
- ・マスク 消毒 等

御協力をお願いします。

「こま名人」登場! 2/24

今年は、コロナ禍でこま名人(辻・櫻井・亀井 各氏)が来てくれるか心配していましたが、子ども達が頑張ってこま回しに挑戦しているのを伝えると、快く引き受けてくださいました。年中と年長の子ども達に教えていただきました。感染防止対策をして、場所も遊戯室で行いました。子ども達は日々の練習で、コマを回せる子どもが増えていきます。子ども達は、こま名人が見せる高度な技(手載せ・綱渡り)を目の当たりにして、「すごい!」

と言いながら、見とれていました。年長の子ども達の中には、名人技に挑戦する子もいました。最後に皆で一斉に回しました。これを機会にこま名人目指して技術を磨いて欲しい願っています。



「コロナ禍を通して見えてきたもの!」
☆緊急事態宣言が3月7日まで延長されました。隣の小中学校にも罹患者が出て、大変心配されました。しかし、現時点で幸い感染が拡大せずほっとしています。普及するまでには時間を要します。今後とも気を引き締めて感染予防に努めてまいりたいと思います。
☆コロナ禍を通して、改めて私達の生き方そのものが問い直されているように思います。新型コロナウイルスは、「説には森林破壊などによって生態系が破壊されたことが原因であると言われていました。人間が傲慢になり自然界はすべて人間の力でコントロールできるの慢心が、様々な問題(環境破壊、地球温暖化、原発事故等)を引き起こしている」と指摘されています。生命科学者の中村桂子さんは、次のように語っています。
・人間は生き物であり自然の一部であるという感覚を失ってしまっただ。生き物は「予測不可能な存在」であり、想定外のこと起こるは当たり前だと思っ生きていくことが大切である。
・人間は、利便性・効率性はかりを追求し、手のかかるもの、制御できないものを遠ざけてきた。その結果、変化に弱い社会になった。
・多様性「人間が本来の生き物の有り様。互いに違うからこそ、豊かな関係が生まれる。手洗いやマスクも感染防止で他の人の命を守る。思いやりに溢れた行為」と言える。
・目に見えないものを思い描く想像力があるからこそ、遠くにいる仲間を思い、未来に希望を抱くことができる。何よりも大切なのは、毎日の生活の中で「今日も生きていて、楽しかったな」と言う喜びや充実感を見つけていくことだ。
中村さんの話を読んで、当たり前前と違って何気ない日常生活が「当たり前前ではない」と思い直しました。先月は、東北地方に震度6の大きな地震が発生し、東日本大震災がまだ終息していないことを改めて思い知らされました。今日も何事も無くても良かった」と素直に感謝するとともに、何が起きてても不思議ではない」との危機感も同じように持つておくことが大切であると思っていました。



心とこめく
わくわくわくわくコーナー

